

カーボンニュートラルに向けた産業支援事業企画運営業務 審査評価基準

評価項目		配点	係数	評価点 4~0点
I 提案者の優位性		12		
類似業務に関する実績等	同種又は類似業務に関する実績やノウハウが豊富であるか。	4	1	
本業務に携わる者に関する実績等	氏名、専門分野、実績、業務に関連する資格等が明確に示されており、その内容は、本業務の実施に関して、適切であるか。	4	1	
その他の優位性	本業務を実施するに当たり、独自性や高い優位性を有しているか。	4	1	
II 業務の実施体制		8		
業務の実施体制	人員配置や役割分担等、本業務に関する運営方法は、適切かつ現実的なものであるか。また、カーボンニュートラルに関して企業が抱える課題や取り巻く環境がそれぞれ異なる中で、多様なノウハウ・経験を持つ専門家を十分配置するなど、実情に応じて柔軟に対応できる実施体制がとられているか。	8	2	
III 具体的な企画内容		92		
i 機運醸成（取組検討・初動支援等）		16		
初動支援コンテンツ	ウェブサイトに掲載する初動支援コンテンツの更新や拡充の内容は、県内企業のカーボンニュートラル対応への意識を高め、積極的に取組を開始していくよう期待できる提案になっているか。	4	1	
取組課題の抽出	企業の共通課題を把握するためのプロセスについては、効果的なものとなっているか。また、企業の当該プロセスへの積極的な関与が見込まれる提案・アプローチ方法となっているか。	8	2	
	ワークショップ等で取り組むテーマ設定や優先順位付け及び取組方針策定の整理プロセスのロジック・手法は適切か。また、優先順位を踏まえ、次年度以降も企業が継続的に課題解決に取り組むための工夫は、十分に図られているか。	4	1	
ii ワークショップ・勉強会などコミュニティ形成に向けた取組		40		
テーマ設定	ワークショップなどで設定するテーマの内容・数は、県内企業を取り巻く状況を踏まえたニーズと合っていることが見込まれるものとなっているか。	4	1	
(テーマ①) ワークショップ・勉強会等	ワークショップなどの開催回数及び実施内容は十分なものであるか。また実施方法は、十分に成果を得られるものであるか。	4	1	
	幅広い業種又は課題解決に寄与する複数の企業の参画が期待できるアプローチ手法となっているか。	4	1	
	今後においてモデルの創出に向けた実証等を行っていく上で、企業が継続的に課題解決に取り組むための工夫は、十分に図られているか。	4	1	
(テーマ②) ワークショップ・勉強会等	ワークショップなどの開催回数及び実施内容は十分なものであるか。また実施方法は、十分に成果を得られるものであるか。	4	1	
	幅広い業種又は課題解決に寄与する複数の企業の参画が期待できるアプローチ手法となっているか。	4	1	
	今後においてモデルの創出に向けた実証等を行っていく上で、企業が継続的に課題解決に取り組むための工夫は、十分に図られているか。	4	1	
(テーマ③) ワークショップ・勉強会等	ワークショップなどの開催回数及び実施内容は十分なものであるか。また実施方法は、十分に成果を得られるものであるか。	4	1	
	幅広い業種又は課題解決に寄与する複数の企業の参画が期待できるアプローチ手法となっているか。	4	1	
	今後においてモデルの創出に向けた実証等を行っていく上で、企業が継続的に課題解決に取り組むための工夫は、十分に図られているか。	4	1	
iii モデル化創出実証（具体的なプロジェクトの創出）		20		
テーマ設定・実証事業の進め方	実証プロセスと実施方法は適切であり、サポート内容は、想定される課題・ニーズを踏まえたものとなっているか。また、電池関連部品CFPを含むテーマ以外の実証に取り組むことを想定するなど、意欲的な提案となっているか。	12	3	
成果の水準	成果の水準は高く、実現可能性も踏まえた適切な設定がなされているか。	4	1	
横展開	実証で得た成果を県内企業へ展開する手法は、効果的なものとなっているか。	4	1	
iv プラットフォーム構築に向けた検討		16		
検討手法	仮説検証のプロセスや手法は、国内外の規制動向等も踏まえつつ、企業の抱える課題やニーズ等がうまく反映できるものであり、次年度以降に計画の実行が期待できるものとなっているか。	12	3	
	3つの視点（動機づけ、見える化、削減）を軸とした構造化が図られるものとなっているか。	4	1	
IV 全体設計		8		
スケジュール	本事業の目標達成に向け、効果的なスケジュール・タスク設定となっているか。	4	1	
予算及び経費内訳	予算額及び経費の内訳に妥当性があるか。	4	1	
合計		120		
			総合点:	

評価4:特に優れている 評価3:優れている 評価2:普通 評価1:劣っている 評価0:特に劣っている

※本評価基準における最低基準点は、72点（評価値の100分の60）とする。